

2022年12月8日リリース Mist 新機能のご紹介

ジュニパーネットワークス株式会社

JUNIPER 
driven by Mist AI

はじめに

- ❖ 本ドキュメントは以下のリリースノートを抄訳したものです

<https://www.mist.com/documentation/december-8th-2022-updates/>

- ❖ 本ドキュメントは2022年12月時点のMist cloudのGUIを使用しております
- ❖ 実際の画面と表示が異なる場合がございます
- ❖ 内容について不明な点、ご質問等ございましたら担当営業までお問い合わせください

本リリースで追加された機能一覧

Marvis

- Marvis対話型アシスタントによる有線LAN,WANを含めたサイト全体のトラブルシューティング

Wired Assurance

- キャンパスファブリック
- スイッチ設定変更の際の確認ページの表示
- Wired Assurance QFX5130/QFX5700のサポート
- RADIUSサーバからのダイナミックなCoAの対応

WAN Assurance

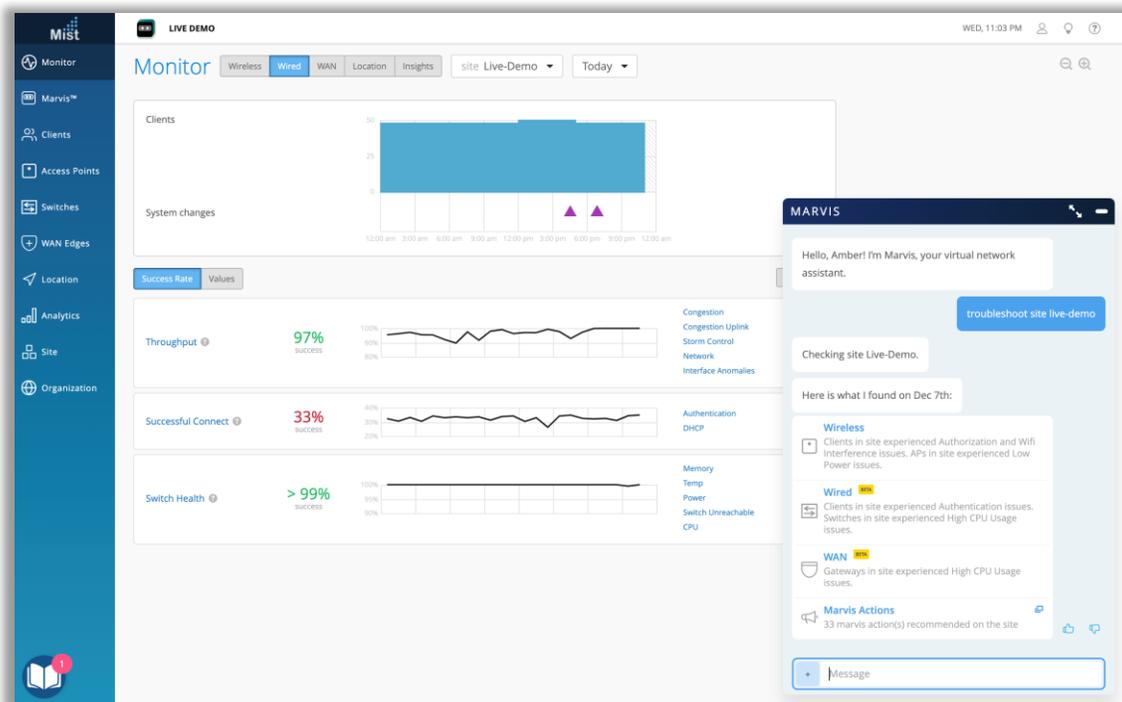
- セキュアクラウドコネクタ - Zscaler
- WANエッジデバイス peer状態の確認(SSR)

Customer Engagement

- POEアナリティクスレポート(プレミアムアナリティクス)

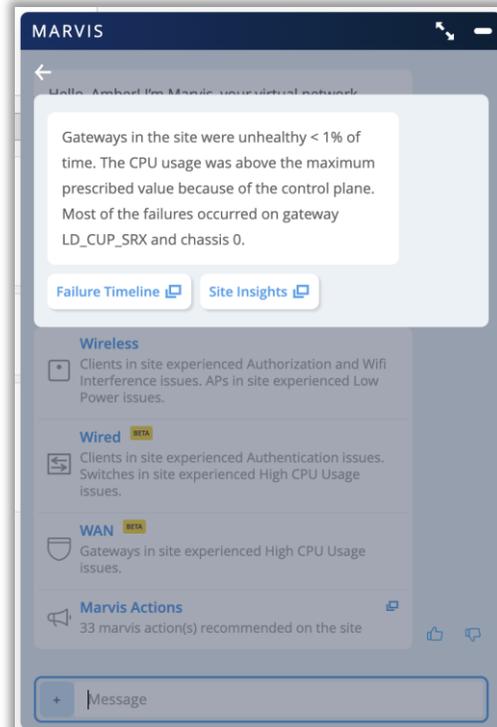
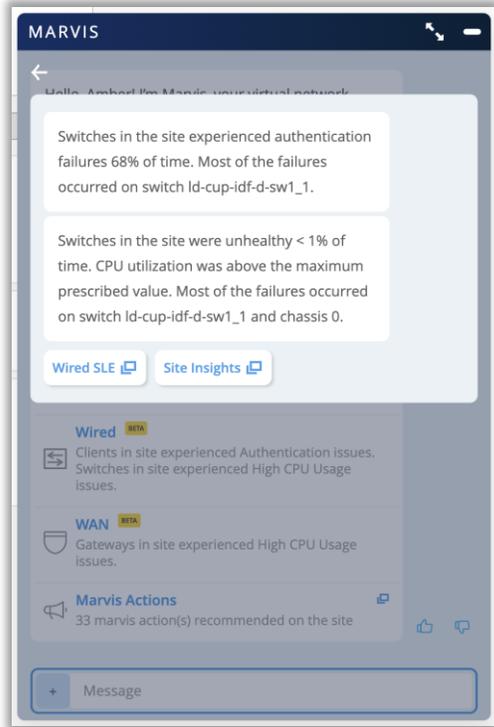
Marvis

Marvis対話型アシスタントによる有線LAN,WANを含めたサイト全体のトラブルシューティング



- Marvis対話型インターフェースの“troubleshoot site”クエリーによるトラブルシューティング対象範囲に有線LANとWANが追加されました
- 本機能は各エリアネットワークごとにVNAサブスクリプションが必要となります

Marvis対話型アシスタントによる有線LAN,WANを含めたサイト全体のトラブルシューティング(続き)



- 左図の例ではそれぞれ有線LANおよびWANの問題を検知した例を表示しています

Wired Assurance

キャンパスファブリック

- Wired Assuranceを使用したCampus Fabric Core-Distribution,およびCampus Fabric IP CLOSの作成がサポートされました
- 将来的にベータ表示は消去される予定です
- Campus Fabric Core-Distribution,およびCampus Fabric IP CLOSでサポートされる機能は以下のとおりです
 - 組織トポロジの作成：ポッド構造を備えた大規模なトポロジである EVPN/VXLANベースのキャンパスファブリックを構成できるようになりました。各ポッドは、サイトを表します
 - サービスブロックでのボーダリーフのサポート：キャンパスファブリックのエッジを終端するデバイスのサポートおよびファブリックに出入りするエンドポイント(VTEP)のサポート
 - エニーキャストゲートウェイのサポートは、ERBおよびIP-CLOS トポロジのエッジでのルーティングのデフォルトになります
 - エニーキャストゲートウェイを使用すると、ファブリック内のすべてのリーフにわたって、ネットワーク (VLAN) ごとに1つのIPアドレスを設定できます
 - デフォルトで設定された VRFでのタイプ5ルート of theサポート：コントロールプレーンでは、EVPN タイプ 5 ルートを使用して、データセンター間のサブネット間接続の IP プレフィックスをアドバタイズします。EVPN Type 5 IP プレフィックス ルートによって提供される接続を使用してテナントに到達するために、データパケットは、VXLANヘッダーにカプセル化されたレイヤー2フレームとして、IP ネットワークを介して送信されます

キャンパスファブリック(続き)

× Campus Fabric Configuration 1. Topology 2. Nodes 3. Network Settings 4. Ports 5. Confirm

Choose Campus Fabric Topology
Choose the topology you want to construct and configure related options

TOPOLOGY TYPE

- EVPN Multihoming
Collapsed core with ESI-Lag
- Campus Fabric Core-Distribution **BETA**
EVPN core/distribution with ESI-Lag
- Campus Fabric IP Clos **BETA**
Campus fabric with L3 at the edge

CONFIGURATION

Topology name is required

Topology Name

OVERLAY SETTINGS

BGP Local AS

65000
(2-byte or 4-byte)

UNDERLAY SETTINGS

AS Base

65001
(2-byte or 4-byte)

Loopback prefix

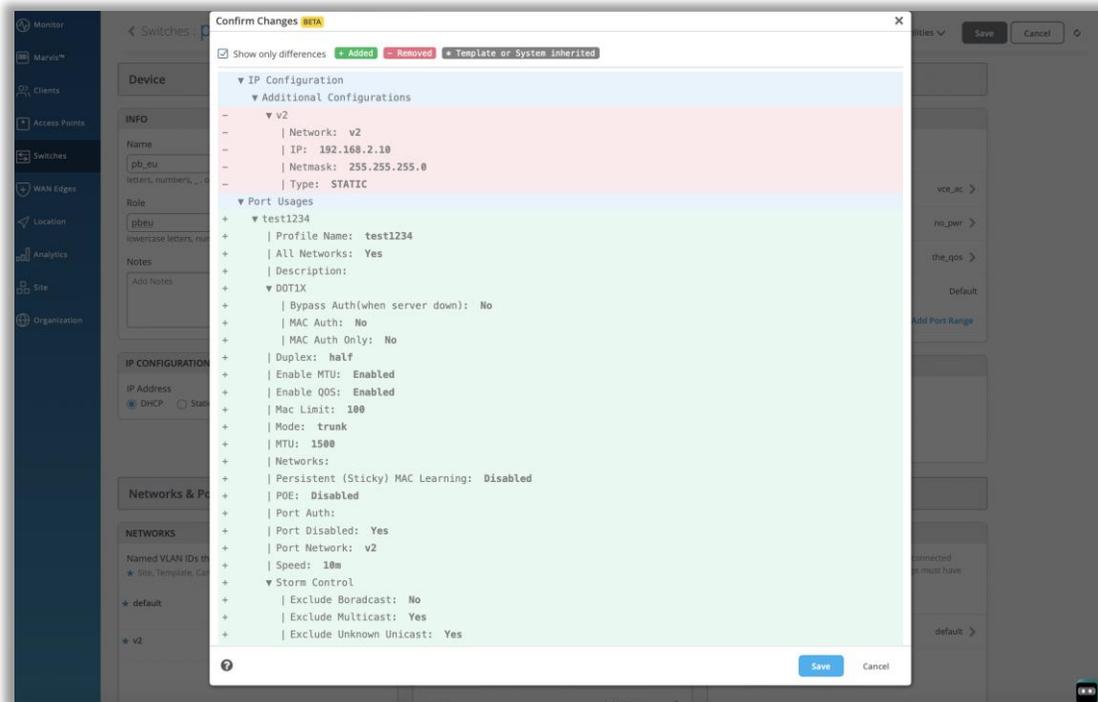
/24

Subnet

10.255.240.0/20
(xxxx.xxx.xxx/xx)

- ジャンボMTUは、ベストプラクティスとしてすべてのファブリックリンク、IRB インターフェイス、および ESI-LAG に対してデフォルトで設定されます
- CRBトポロジのオプションとしてのVirtual-gateway-v4-mac (VGA) 自動定義された仮想MacがVLANごとに定義されます
- すべてのキャンパスファブリックトポロジでEX9200をサポート

スイッチ設定変更の際の確認ページの表示

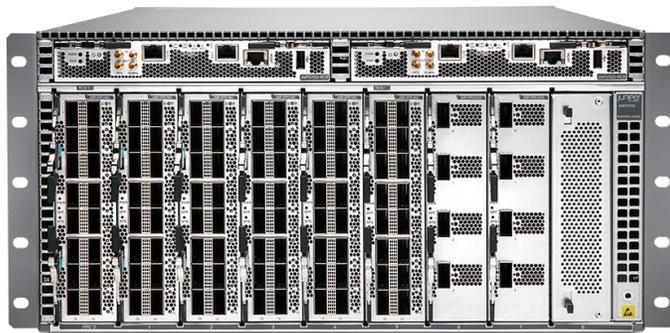


- 組織・サイト・スイッチ単体各レベルのテンプレートページで、設定を変更するたびに[変更の確認]ビューが表示されるようになりました
- これにより、既存の設定とデバイスに投入される設定の違いが確認できます

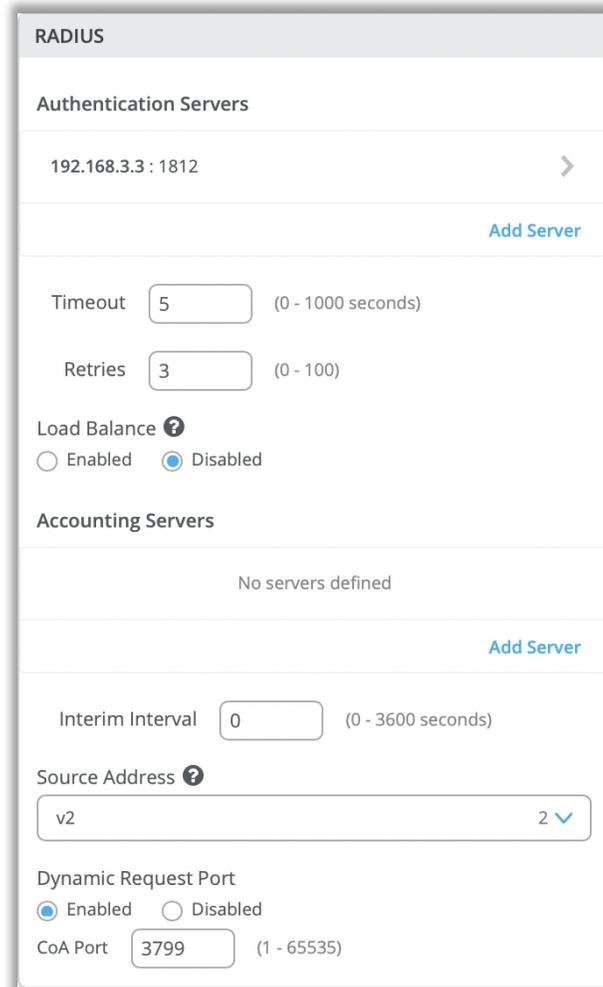
Wired Assurance QFX5130/QFX5700のサポート



- EVOプラットフォームのQFX5130/QFX5700がWired Assuranceに対応しました



RADIUSサーバからのダイナミックなCoAの対応



RADIUS

Authentication Servers

192.168.3.3 : 1812 >

[Add Server](#)

Timeout (0 - 1000 seconds)

Retries (0 - 100)

Load Balance ?

Enabled Disabled

Accounting Servers

No servers defined

[Add Server](#)

Interim Interval (0 - 3600 seconds)

Source Address ?

2 v

Dynamic Request Port

Enabled Disabled

CoA Port (1 - 65535)

- RADIUSサーバからのCoAリクエストの送信への対応としてダイナミックリクエストポートオプションが追加されました

WAN Assurance

セキュアクラウドコネクタ - Zscaler

WAN Edge Configuration: Spoke

Configuration is Managed by Mist

NTP

Override Configuration Template

NTP Servers

(Comma-separated IPs/Hostnames)

DNS SETTINGS

Override Configuration Template

DNS Servers

8.8.8.8

(Comma-separated IPs and Max 3)

DNS Suffix (SRX Only)

(Comma-separated Domains and Max 3)

SECURE EDGE CONNECTOR

2 Providers

NAME
gre
ipsec

Edit Provider

Note: Please ensure Application Policy with Traffic Steering is configured for the Secure Edge Connector configuration to take effect.

Name: ipsec

Provider: ZScaler

Protocol: IPsec GRE

Local ID: [Redacted]

Pre Shared Key (Clear Text): [Redacted]

Reveal

PRIMARY

IP or Hostname: [Redacted]

Probe IPs: 1.1.1.1

WAN Interface: wan

[Add Interface](#)

SECONDARY

IP or Hostname: [Redacted]

Probe IPs: [Redacted]

WAN Interface: No WAN Interfaces.

[Add Interface](#)

WAN TYPE	IP CONFIGURATION	OVERLAY HUB ENDPOINT
broadband	10.2.47.165/18	vkhub-wan
broadband	172.16.15.60/24	vkhub-wan

- WANエッジデバイスの設定にセキュアクラウドコネクタのメニューが追加されました
- 本機能を利用し、IPsec/GREプロトコルを介してZscalerとのトンネルを確立し、アプリケーションポリシー+トラフィックステアリングを使用して、WANエッジデバイスからZscalerにトラフィックを送信できます
- WANエッジの詳細ページには、データのトラブルシューティングと監視に役立つセキュアエッジ接続のインサイトとテレメトリが表示されます

SECURE EDGE CONNECTOR DETAILS

Filter

1 Tunnel

Tunnel Name	Peer IP	Status	Last Seen	Node	RX Bytes	TX Bytes	RX Packets	TX Packets	Last Event	Protocol	Uptime
ipsec	165.225.113.217	Connected	11:36 AM Dec 8	node1	1.7 kB	1.7 kB	29	29	--	IPsec	58m

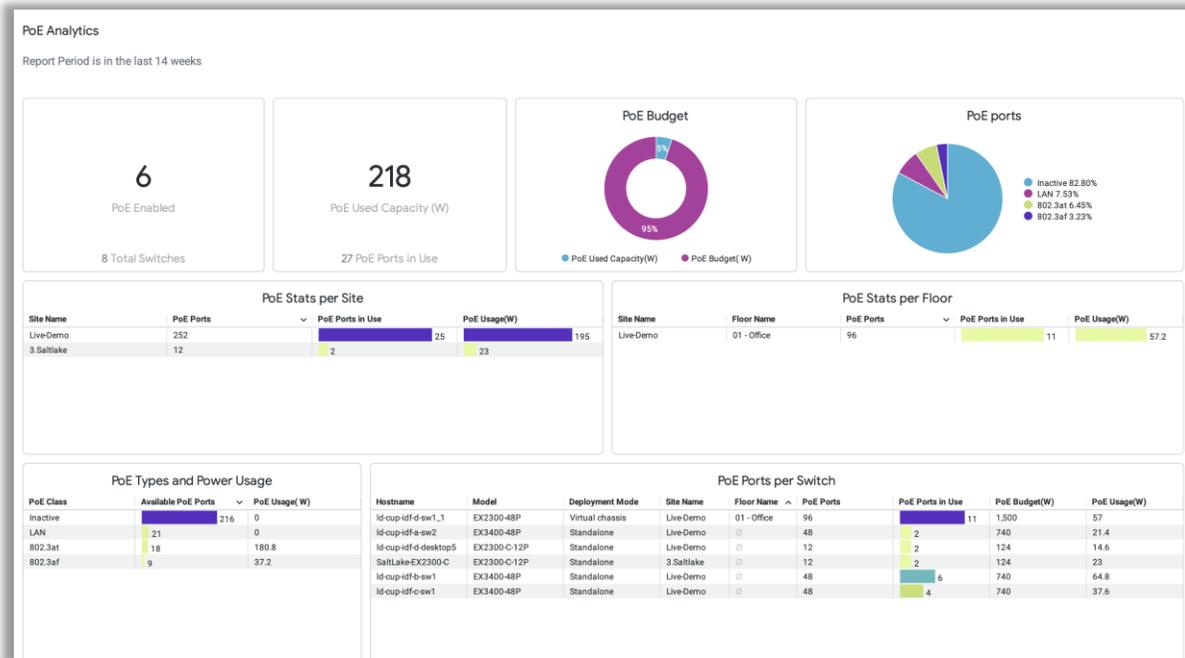
WANエッジデバイス peer状態の確認(SSR)

- WANエッジデバイスの詳細ページでpeer path接続時の詳細な情報が表示されるようになりました
- 本機能はSSRのみ対応しています

Interface Name	Neighborhood	Topology Type	Peer Name	Status	Uptime	Latency	Loss	Jitter	MTU	Hop Count
ge-0/0	→ wan.OrigOverlay	Spoke	hub-aws	Up	2h 30m	0	0	0	1500	0

Customer Engagement

POEアナリティクスレポート(プレミアムアナリティクス)



- プレミアムアナリティクスのレポートタイプにPOEアナリティクスが追加されました
- POEスイッチの給電状況やPOEポート数やインターフェースタイプ、利用可能なPOEバジェットなど、POEに関する情報を取得できます

Thank you

JUNIPER 
driven by **Mist AI** TM